

土研 新技術ショーケース 2008 in 北陸



参加費無料

お申し込みは、
土木研究所
ホームページを
ご覧ください。

講演会プログラム

10:00~10:05 開会挨拶

【防災】

10:05~10:35 NEW高耐力マイクロパイル工法(新しい杭基礎工法)

10:35~11:05 光ファイバセンサによる斜面の多点変位計測技術

11:05~11:35 防災のための浅部地盤調査

11:35~13:00 休憩

13:00~13:30 碎石とセメントを混合した高強度パイルによる
地盤改良(グラベルセメントコンパクション
パイル工法(GCCP工法))

【維持管理】

13:30~14:00 インバイロワン工法(鋼構造物の塗膜除去技術)

14:00~14:30 グラウンドアンカー維持管理マニュアル

14:30~14:50 休憩

【環境】

14:50~15:20 アドバンスドテレメトリシステム

15:20~15:25 閉会挨拶

展示・技術相談コーナー同時開催
(10:05~15:20)

展示・技術相談コーナーにて、詳細な技術説明を行っておりますので、是非お立ち寄りください。

随時ご質問にお応えします!



お気軽にお立ち寄り下さい。



【交通のご案内】

タクシー

金沢駅西口より約10分

北鉄バス

金沢駅西口、大桑住宅、香林坊、
上荒屋西、発金沢駅西口経由
「工業試験場行」または
「消費生活支援センター行」乗車
「工業試験場」下車
金沢駅西口より約20分

開催日時

2008年11月19日(水)

午前10時~午後3時25分(開場、受付開始午前9時30分~)

開催場所

石川県地場産業振興センター

〒920-8203

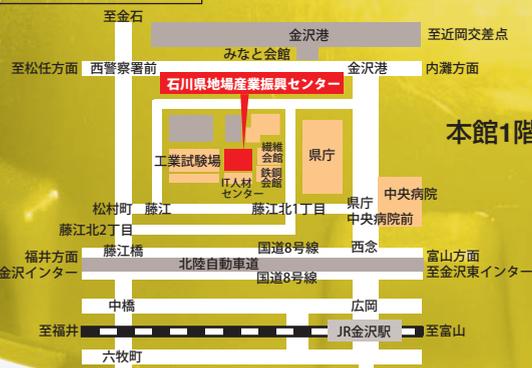
石川県金沢市鞍月2丁目1番地

電話 076-268-2010

本館1階大ホール:講演会、展示・技術相談コーナー



土木学会認定
CPDプログラム



【主催】独立行政法人土木研究所

【共催】社団法人建設コンサルタンツ協会北陸支部

社団法人石川県建設コンサルタンツ協会

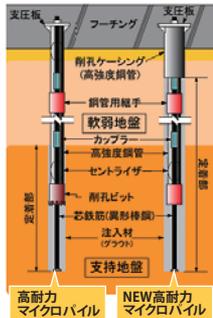
【後援】国土交通省北陸地方整備局

お問合せ:独立行政法人 土木研究所 技術推進本部 Tel.029-879-6800

参加申込み:<http://www.pwri.go.jp/jpn/news/2008/1119/showcase.html>

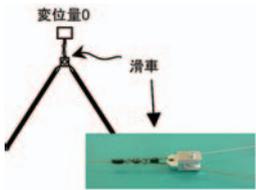
防災

NEW高耐力マイクロパイル工法 (新しい杭基礎工法) 10:05~10:35



NEW高耐力マイクロパイル(NEW-HMP; NEW High Capacity Micropile)は、既設基礎の耐震補強工事で多くの実績を有する高耐力マイクロパイル(HMP)の施工手順を改善・改良することで、軟弱層での周面摩擦を確保し支持力の増大を可能にした杭です。これにより、NEW-HMPは、HMPの有する狭隘な場所での施工が可能などの利点を生かしながらも、HMPに比べて杭本数を減らすなど、工期短縮・コストダウンが可能となります。

光ファイバセンサによる斜面の多点変位計測技術 10:35~11:05



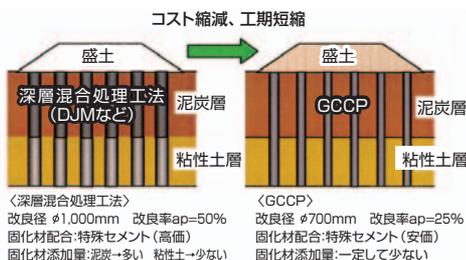
表層崩壊危険域の推定および崩壊予測技術として、光ファイバセンサを用いた面的な表層斜面崩壊モニタリング手法を開発し、マニュアルの作成を行いました。また、ポイント型センサによる面的計測の際の設置費および材料費の低コスト化を図るため、動滑車を活用した面的な変位計測技術を開発しましたので、紹介します。

防災のための浅部地盤調査 11:05~11:35



地すべりや地震災害には浅部地盤の物性と構造が大きく影響しています。したがって、防災対策を進めるには浅部地盤構造を的確に把握することが重要です。その一つの方法に物理探査といわれる技術があります。この技術の適用領域を拡張することを目的とした特殊な装置を土研で開発しました。「ランドストリーマー」と名付けた測定装置です。本発表では都市域での活断層調査、河川堤防の健全度調査や地すべり地調査等への本装置の適用事例を紹介いたします。

砕石とセメントを混合した高強度パイルによる地盤改良 (グラベルセメントコンパクションパイル工法(GCCP工法)) 13:00~13:30



サンドコンパクション工法の改良型の機械を用い供給材(砕石とセメントスラリー)のみで高強度($qu=2MN/m^2$)なソイルセメントパイルを造成する軟弱地盤対策技術です。原位置土の影響を受けず、均質で高強度な品質を確保します。従来の深層混合処理と比較して、改良率を低減することが可能なため、コスト削減を図ることができます。さらに、室内配合試験の必要がなく、試験費用の削減・工期短縮などの効果も期待できます。

維持管理技術

インバイロワン工法 (鋼構造物の塗膜除去技術) 13:30~14:00

第2回ものづくり日本大賞(内閣総理大臣賞)受賞技術
第8回国土技術開発賞最優秀賞(国土交通大臣賞)受賞技術



鋼橋塗装のライフサイクルコスト削減のため、一般塗装系塗膜を耐久性に優れた重防食塗装に塗り替える必要があります。本講演では、鉛・クロムなどの有害物質を含む一般塗装系塗膜を容易かつ確実に除去・回収できる、作業効率・環境安全性に優れた塗膜除去工法「インバイロワン工法」を施工事例を交えて紹介します。

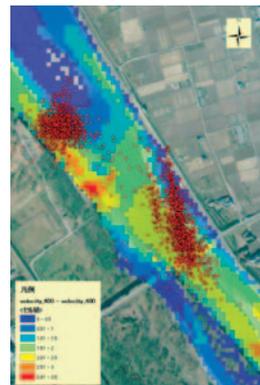
グラウンドアンカー 維持管理マニュアル 14:00~14:30



グラウンドアンカー(以下、アンカー)はわが国に導入されて50年近く経過しています。初期には施工技術や防食技術が開発途上であったため、近年においてアンカーの機能消失によるのり面の変状や腐食等による破断などの問題が見られます。本マニュアルは、(独)土木研究所と(社)日本アンカー協会が2005年度に行った共同研究の成果として取りまとめたもので、アンカーの長期にわたる機能の確保と、斜面・構造物等の安定・安全を維持するために、アンカーの維持管理の考え方を示したものです。

環境

アドバンスドテレメトリシステム 14:50~15:20



土木事業において、野生動物の生息空間への影響を最小限に抑え、環境を保全・復元するためには野生動物の行動調査が必要です。本講演では、新規に開発した野生動物の自動追跡システム(ATS)について、調査可能対象動物や計測性能等の紹介、千曲川でのニゴイ(コイ科)の遊泳状況の調査事例、試作中の魚類の遊泳シミュレーションモデルについて説明します。

図中の●は出水時におけるニゴイの行動



ショーケース開催時間中(10:05~15:20)は、講演項目についてポスター展示等による技術説明および技術相談を行います。興味ある講演を聴講し、じっくり技術相談をしていただき、新技術をマスターしてください。